

平成 31 年度(2019 年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト面接（模擬授業）  
実施案内

1. 実施方法

出願した「校種・教科等」において、次の表中に示す「模擬授業の内容」を扱った授業を構想し、その授業の一部を模擬授業として行ってください。

2. 模擬授業について

- (1) 模擬授業の時間は入室から授業終了までの5分間です。模擬授業は「模擬授業の内容」に即して、事前に準備した上で行ってください。
- (2) 面接室にはホワイトボード、マーカー（黒・赤・青 各1本）が用意してあります。
- (3) 模擬授業は必ずしも授業の“導入”部分から行う必要はありません。途中の“展開”部分や“まとめ”部分から授業を始めていただいて構いません。  
⇒ 模擬授業は時間内に授業をまとめる必要はなく、授業内容の途中で終わっても構いません。  
⇒ 「模擬授業の内容」と直接関係のない“導入”部分は不要です。
- (4) 模擬授業の進行上、図や長文などホワイトボードに書くにあたって時間を要するものに関しては、ホワイトボードに書いてあるものと想定して授業を行っても構いません。
- (5) 面接員を児童生徒と想定して授業を行ってください。ただし、面接員は発言等を行ったり、反応したりしません。
- (6) 模擬授業に持ち込み可能なものは※模擬授業メモ（1枚）のみです。  
⇒ 授業を行うにあたっては、模擬授業メモを見ながら授業を行っても構いません。
- (7) 模擬授業の終了後、引き続き同じ面接室で個人面接（15分間）を行います。  
⇒ 個人面接において、模擬授業に関する質問がされる場合があります。
- (8) 模擬授業の内容の表内に示されているページは、文部科学省により発行されている学習指導要領（小学校・中学校）[平成29年3月告示]のページ数を表しています。  
WEB ページ上のもではありませんので注意してください。
- (9) 模擬授業に関するご質問については、一切お受けいたしません。この実施案内をしっかりと読んで模擬授業に備えてください。

※模擬授業メモ（A4サイズの内紙に限る）

- ・授業案、板書や授業用のメモなど模擬授業に必要な内容を自由にお書きください。  
また、本や教材などをコピーしたものでも構いません。両面を使用することも可能です。
- ・このメモは、模擬授業中に見る以外の使用は一切しないでください。  
⇒ 他の物品については一切持ち込むことはできませんので、ご注意ください。  
⇒ 模擬授業メモは評価の対象とはしません。提出は不要です。

校種・教科等	模擬授業の内容
小学校	《小学校学習指導要領 p.79 算数〔第4学年〕2 内容》 C 変化と関係 (1) 伴って変わる二つの数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。

<p>中学校・国語</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.34 国語〔第2学年〕2 内容》 〔思考力, 判断力, 表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように, 段落相互の関係などを明確にし, 文章の構成や展開を工夫すること。 エ 読み手の立場に立って, 表現の効果などを確かめて, 文章を整えること。 (2) (1)に示す事項については, 例えば, 次のような言語活動を通して指導するものとする。 イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど, 伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。</p>
<p>中学校・社会</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.59～p.60 社会〔公民的分野〕2 内容》 C 私たちと政治 (2) 民主政治と政治参加 対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して, 課題を追究したり解決したりする活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識を身に付けること。 (ウ) 国民の権利を守り, 社会の秩序を維持するために, 法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解すること。</p>
<p>中学校・数学</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.71～p.72 数学〔第2学年〕2 内容》 D データの活用 (2) 不確定な事象の起こりやすさについて, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。</p>
<p>中学校・理科</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.90～p.91 理科〔第2分野〕2 内容》 (4) 気象とその変化 身近な気象の観察, 実験などを通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら, 次のことを理解するとともに, それらの観察, 実験などに関する技能を身に付けること。 (エ) 自然の恵みと気象災害 ⑦ 自然の恵みと気象災害 気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ, これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解すること。</p>
<p>中学校・音楽</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.100～p.101 音楽〔第1学年〕2 内容》 A 表現 (3) 創作の活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら, 創作表現を創意工夫すること。 〔共通事項〕 (1) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。</p>

<p>中学校・美術</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.110～p.111 美術〔第2学年及び第3学年〕2 内容》  <b>B 鑑賞</b>  (1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。  イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  (イ) 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p>
<p>中学校・保健体育</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.128 保健体育〔保健分野〕2 内容》  (3) 傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。  (イ) 応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生法などを行うこと。</p>
<p>中学校・技術</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.134 技術・家庭〔技術分野〕2 内容》  <b>C エネルギー変換の技術</b>  (3) これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。</p>
<p>中学校・家庭</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.139 技術・家庭〔家庭分野〕2 内容》  <b>C 消費生活・環境</b>  次の(1)から(3)までの項目について、課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  (3) 消費生活・環境についての課題と実践  ア 自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できること。</p>
<p>中学校・英語</p>	<p>《中学校学習指導要領 p.149～p.151 外国語 英語 2 内容》  〔思考力、判断力、表現力等〕  (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項  ① 言語活動に関する事項  エ 話すこと〔やり取り〕  (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。  3 指導計画の作成と内容の取扱い  (1) 指導計画の作成に当たっては、小学校や高等学校における指導との接続に留意しながら、次の事項に配慮するものとする。  エ 生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすること。  オ 言語活動で扱う題材は、生徒の興味・関心に合ったものとし、国語科や理科、音楽科など、他の教科等で学習したことを活用したり、学校行事で扱う内容と関連付けたりするなどの工夫をすること。</p>

平成 31 年度(2019 年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト面接（場面指導）  
実施案内

1. 実施方法

出願した「校種・教科等」において、次の表中に示す「場面指導の内容」を扱った集団を対象とした指導を構想し、その一部を場面指導として行ってください。

2. 場面指導について

- (1) 場面指導の時間は入室から終了までの 5 分間です。場面指導は「場面指導の内容」に即して、事前に準備した上で行ってください。
- (2) 面接室にはホワイトボード、マーカー（黒・赤・青 各 1 本）が用意してあります。
- (3) 場面指導は、必ずしも“導入”部分から行う必要はありません。途中の“展開”部分や“まとめ”部分から始めていただいて構いません。  
⇒ 場面指導は、時間内にまとめる必要はなく、途中で終わっても構いません。  
⇒ 「場面指導の内容」と直接関係のない“導入”部分は不要です。
- (4) 場面指導の進行上、図や長文などホワイトボードに書くにあたって時間を要するものに関しては、ホワイトボードに書いてあるものと想定して行っても構いません。
- (5) 面接員を児童生徒と想定して行ってください。ただし、面接員は発言等を行ったり、反応したりしません。
- (6) 場面指導に持ち込み可能なものは※場面指導メモ（1 枚）のみです。  
⇒ 場面指導を行うに当たっては、場面指導メモを見ながら行っても構いません。
- (7) 場面指導の終了後、引き続き同じ面接室で個人面接（15 分間）を行います。  
⇒ 個人面接において、場面指導に関する質問がされる場合があります。

※場面指導メモ（A4 サイズの用紙に限る）

- ・指導の案、板書や指導用のメモなど場面指導に必要な内容を自由にお書きください。また、本や教材などをコピーしたもので構いません。両面を使用することも可能です。
- ・このメモは、場面指導中に見る以外の使用は一切しないでください。  
⇒ 他の物品については一切持ち込むことはできませんので、ご注意ください。  
⇒ 場面指導メモは評価の対象とはしません。提出は不要です。

校種・教科等	場面指導の内容
養護教諭	○「食事と健康」の観点から朝ご飯を食べることの重要性について、小学校高学年の学級において、集団対象の指導を行う。
栄養教諭	○野菜嫌いなど偏食のある児童が多い小学校 2 年生の学級において、好き嫌いなく食べようとする意識を持たせることを目的とした、集団対象の指導を、給食の時間中に行う。